

死にたくないよね…。けど…！」



機動戦士

ガンダム00

ダブルオー

ガンダム00 オールヒロインズ

ガンダム00 オールヒロインズ

Q Iezmoe
Quality

成年向け

「ねえ… 私達、
分かりあえてるよね?」



プロレマイオス2 躍舵手&イノベイター
アニュー・リターナー

「もうちょっと、
オシャレに気を使つてね……？」

クリスティーナ・シェラ
プレマイオス戦況オペレーター

「あ…」「めんなさい。
ちょっと

髪どめが壊れて…」



「
ト
レ
マ
イ
オ
ス
戦
況
オ
ペ
レ
ー
タ
ー

「
ト
レ
マ
イ
オ
ス
戦
況
オ
ペ
レ
ー
タ
ー

「
ト
レ
マ
イ
オ
ス
戦
況
オ
ペ
レ
ー
タ
ー

アザデイスクタツ王国
第1皇女・イスマイール

「そんなん……。
笑えない冗談だわ」

「毅然としなさい？」

マリナの側近
&カタロンメンバー
シーリン・バフティヤール

「そうね。死にたくないよね
けど…！」

アロウズ・准尉

ルイス・ハレヴィイ



「うふふつ！
これが
あんたのやり方？
もう
たまんないっ♪」



ガンダムマイスター・
チームトリニティ
ネーナ・トリニティ

「大人の女に脱皮中ですう」

ミレイナ・ヴァステイ

「大人の女に脱皮中ですう」

ミレイナ・ヴァステイ



「...元気にしてた?」



ソレスター・ビーイング技術者
リンダ・ヴァスティ

「たまらないのよ。『ういのは
…』

ツレスタルビーイング戦術予報士
スマラギ・李・ノリエガ

『…全く。放つておけん奴だ…』



AEU・アロウズ指揮官
戦術予報士・マネキン

「もうやく手がかりを見つせたんだも。おまけ語るからさ…。」



「アタシのヤードセラー
絹江・久口ペローナ

ソーマ・ピーリス
人革連少尉・超兵

「マリーでいい。
そう呼びたければ、
しかし、私は
私は」



イノベイター

ヒーリング・ケア

「…まさに
命がけの恋ってやつ?」



「どんな手段で
来て貰つてもいいわ」

エージェント
王留美（ワン・リューミン）

作者のあとがき!!

お疲れ様でした!

今回は宇宙世紀を離れまして、ガンダムの女性キャラクター勢揃い本となりました。

最近、スバルボをきっかけにハマリ、ついには本を出すまで至りました(。・。)

お楽しみ頂ければ幸いです、自分は〇〇じごうじ放送当時、露骨に女性向けの絵師さんを起用したことにつり落胆して、見ないまま終わってしまったのですが、話を知るとかなり深く戦争が描かれていたり、中でも宗教上の理由で描くことが難しい中東を取り上げていたことが、とても興味深かったです。

女性キャラクターは、描いてみると男性コーナーを意識したキャラクターと、女性コーナーが嫌悪感を抱かない女性キャラクターの2種類に別れているなあ…と感じました。

当時、Hロボ本がたくさん出た

のは前者だと思われますが、

ガンダムに出てくる女性像の流れとして近いのは後者かも知れませんね(。・。)

また、SEEDの次じゅうフレッシャーに加え、ネットが普及し、ブロケなどで辛口な意見や偏見の風雨も激しかったであろう環境で、「これだけのものを作った」と、正直驚きました。

また、大きなお金が動くガンダムという市場の中、大変なフレッシャーがあつたことだと思います。

今でも世間の評価は厳しいものがあるかもしれません、その理由の一つとして、ガンダムというのは戦争をテーマにしているだけに、コーナーの好き嫌いが割れやすく、その上で更に女性コーナー、男性コーナー、様々な客層の好き嫌いが発生し、万人が楽しむのが難しいコンテンツだから

ではないかと思っています。

しかし、動画サイトの「メント」などを見ていて時折思うのですが、「SEEDが嫌い」「〇〇が嫌い」という、いわゆるアンチ的な発想は、作品そのものの嫌いというよりも、「その作品を支持するコーナーが嫌い」というケースが多いんじゃないかと思います。

そういう意味で、〇〇はおそらく未読のコーナーが、腐女子ウケを狙っているとか、媚びたキャラクターや、キャストイングが気に入らないといったような不満を抱いていたんじゃないかと考えます。

「本当は面白いのに…」とか「見たら面白かった」という話は、今の1クールアーメを始め、様々な所で耳にします。

ヲタクコーナーは、いわゆる「属性」のようなカテゴリーから作品を好きになるケースが多いそうで、業界の経験的にも、どの属性にどれくらいのコーナーがいるか、ある程

度数字が出てるんだと思います。

しかし、「属性」の好き嫌いが反発を招き、信者とアンチを分けてしまうのなら、ただ数字が取れる強い属性に頼るだけでなく、多様性を生み出し、それでコーナーを獲得しなくてはいけない、厳しい時代になつたんだなあと思いました。

改めて、裸を描いてみると、それなりに魅力的でカワイイですね(*。*)

男性向にはない、幕の内的なバランスの良さを感じます。

美少女だらけではなく、色んな女性がいることで、それが引き立っているんだなあ

と感じました。

**女性って
サイコオ!**



誌名・ガンダム00 オールヒロインズ
著者・黒／お湯の香り／サークル・レズ萌え!
発行日・2012年8月12日
印刷所・母淫印刷
レズ萌えコミックス72
連絡先:aperitif.itou@gmail.com
※この本は成年向けです!

買つてくださりありがとうございます。
ダブルオーの女性キャラクターは現実味があつて、描いてる最中に結構ドキドキしました。普段一生懸命で戯いや仕事に真面目な女性キャラクターが、心を許して普段、人に絶対見せない部分をさらけ出し、安心して見る姿というだけで、感されるときかしい様がありました。普段一生懸命で戯いや仕事に真面目な自分になりたい、普段、人に絶対見せない部分をさらけ出し、安心して見る姿というだけで、感されるときかしい様がありました。普段一生懸命で戯いや仕事に真面目な自分になりたい、普段、人に絶対見せない部分をさらけ出し、安心して見る姿というだけで、感されるときかしい様がありました。普段一生懸命で戯いや仕事に真面目な自分になりたい、普段、人に絶対見せない部分をさらけ出し、安心して見る姿というだけで、感されるときかしい様